

まほるば



病院の理念

生命と人権を尊重し、良質かつ適切な医療を行います

第81号

2008年3月発行

【コラム】～ 心技体 ～

心技体という言葉は一般的にはスポーツ界、特に相撲や合気道などで使われます。

この心技体の『心』とは精神、『技』とは技術、『体』とは肉体という意味のようです。

スポーツマンは技術的にも肉体的にも強いだけではなく、精神的にもしっかりしなければならぬという考えのようです。

この心技体という言葉は弘前病院の目指す医療にも合



致します。私流に解釈しますと、『心』は患者さんへのやさしさであり、『技』は医学的な知識と技量であり、『体』は医師・看護師・薬剤師・検査技師・放射線技師・栄養士・事務等が一体のチーム医療をつくりあげる病院の基盤です。この心技体のどの部門のレベルが低くても患者さんに十分な医療を施すことはできません。

患者さんの喜びは医療従事者の喜びであり、弘前病院の喜びであります。弘前病院は患者さんと喜びを共有するために、今日より明日と日々レベルの向上に努力して参ります。

院長 五十嵐 勝朗

「ひろさき」再発見！ ー津軽ひろさき検定ー

いよいよ春がやって来たなあ、としみじみ感じるような穏やかな日差しに包まれた日曜日、去る3月9日に「津軽ひろさき歴史文化観光検定（津軽ひろさき検定）【初級】」が行われました。弘前、東京の2会場で、この日は1,001人が受験、「ひろさき」について、様々な分野からの問題に取り組みました。

（検定は観光業に就いている方のために10日にも実施、両日合わせた受験者数は1,164人でした。）

弘前会場の弘前大学、当日はスムーズに入場を行うため、検定実施担当の方が各所に配置され、「おはようございます。」の挨拶とともに、受験者をとても親切に誘導していました。問題は「初級」ということもあり、公式テキストブックを一通り読んでいれば、「7割の正解で合格」のラインには手が届く内容でした。

しかし、地元のことだから、と油断して臨むと「あら？ どれが正解かしら？」と大いに悩んでしまうこと

になります。色々な角度から「津軽ひろさき」について解説されたテキストブックは、読んでみて「そうか、そうだったのか」とまさしく「ひろさき」再発見。試験終了後の「検定問題答え合わせツアー」には、県外からの受験者を中心に多くの方が参加したとのことでした。

第2回初級検定と、中級検定は今年秋頃の実施予定。検定日までに、テキストブックを半分しか読んでいなかった私は、秋にもう一度挑戦、でしょうか。合否については、直接受験者に送付されます・・・。

庶務係 工藤 真叔



【風の子保育園 ～ひなまつりお茶会～】

3月3日（月）、子どもたちの成長や幸せを願って、「ひなまつりお茶会」を行いました。

毎年、保育園ホールに飾っている七段飾りのおひなさまの前で、子どもたちはちょっぴり緊張ぎみの様子。正座をして一人ずつ甘いお菓子と、にがい抹茶をいただき、少し大人になった気分で「結構なお手前でございます」とごあいさつができ、笑顔になっ



ていました。歌やお話しの後、おひなさまをかこんで、ちらし寿司のお食事パーティーを行い楽しい時間はあっというまに過ぎました。今年は年長組の子供たちがペットボトルの容器を使ってかわいいおひなさまを製作しました。

ぜひ一度、風の子保育園のおひなさまを見に来てください。



風の子保育園長 諏訪 栄子

市民講座「雪国生活の喜怒哀楽」2月27日

津軽に住む私たちにとって、冬の寒さと雪は、避けることのできない宿命のようなものです。寒い冬の季節が嫌いな人もいれば、好きな人もいることでしょうが、いずれの人たちにとっても、冬場は外傷を負うリスクがたくさん潜んでいます。



日常生活では、冬を通して、凍結路面での転倒が起きやすいわけですが、とりわけ、寒暖の差が大きく、私たちの体もまだ冬になじみ切っていない11月下旬あたりは、最も転び易い時期で、初冬の足場には十分注意してください。

また、冬場の名物的外傷の一つに屋根からの転落があります。積雪の多い年に、屋根の雪下ろしをやっている滑落というわけですが、これによる重大な外傷

に脊椎・脊髄損傷が挙げられ、最悪の場合四肢麻痺を一生残しますので、屋根の雪下ろしは安易に行わないでください。命綱をつけるとか、業者に委託するなどの手段を取るのが賢明です。

冬のスポーツといえばスキー、スノーボードですが、スキー外傷が膝、下腿に多いのに比べて、スノーボード外傷は上肢に多く、近年では、外傷の数自体はスノーボード外傷が明らかに多くなっています。これは、両足が固定されていて、転倒の際には手だけが頼りになってしまうことに主な原因がありますが、転倒の原因は殆どがジャンプの失敗にあり、ボーダーが安易に難度の高い技に挑戦している様子がうかがわれます。

歴史の長いスキーは、step by step に上達の階段を登って行くことが誰しもの常識になっているのとは対照的に、スノーボードでは、まだまだ見様見真似でトライしている人が多いのではないのでしょうか。自分の腕前を冷静に判断して、挑戦と無謀を履き違えないようにしてもらいたいものです。

整形外科医師 柳澤 道朗

一卒業式を終えてー 第53回生卒業式

平成20年3月4日、本校体育館に於いて53回生卒業式が行われました。津嶋名誉学校長はじめ多くの来賓の方々や両親に見守られる中、五十嵐学校長より1人ひとりに卒業証書が手渡されました。



その後、学校長、来賓の方より温かいお言葉をいただき、卒業生代表相馬彩華さんが「今日が『さよならの日』ではなく新しい第一歩としてのスタートの日であると考え3年間で築き上げた53回生の『絆』を糧にこれから頑張っていく

たいと思います。」とお礼の言葉を述べ、53回生36名は巣立っていきました。

社会に出てすぐに働く者、進学する者とそれぞれ進む道は違いますが、看護学校で学んだ3年間の糧にそれぞれが思い描く看護師像に近づけるよう頑張ってくださいと思います。

これまで53回生を温かく見守り、ご指導頂いた皆様方に心より感謝申し上げます。

看護学校3学年担任 丹内 留美子



教育セミナー『心疾患の救急対応』2月19日

今回の教育セミナーは『救急シリーズ』の第4弾で、当院内科医長の人見博康先生に『心疾患の救急対応』と題して講義して頂きました。



(平成20年2月19日 18時～、71名参加)

人見先生のお話は、看護師の参加が多いことから、演題の前に特に「ナースのための」と追加して、心疾患のために救急搬送されてきた患者さんに、先生ご自身が救急外来に呼ばれていくまでの間に、その場にいる看護師さんに是非やっておいてもらいたいことにつ

いての解説でした。人を呼ぶ、気道を確保する、呼吸のチェック、胸骨圧迫（心マッサージ）といった基本的な心肺蘇生についての解説の後、医師が到着したら医師は何をするか、看護師にどのような行動を要求するかについて説明がありました。次にやるべきことを知るためには、患者さんの状態を正確に把握することと、病気についての十分な知識を持つことが必要です。そのため救急対応の必要な代表的な心疾患について先生は解説されました。

人見先生の講演はいつも多くの聴衆を集めますが、今回その理由がわかりました。先生のお話は、とにかく明快でわかりやすい！お話を聞いた後、参加者は「これなら私もできる」と自信に満ちた顔に変わっていました。

臨床研究部長 泉井 亮

外来診療一覽

◆外来医師診療一覽表 (2008年3月1日現在)

診療科		月	火	水	木	金
総合診療外来		/	/	大 串 和 久	/	/
内 科		人 見 博 康	小 沢 一 浩	人 見 博 康	小 沢 一 浩	小 沢 一 浩
呼吸器科		山 本 勝 丸	中 川 英 之	中 川 英 之	山 本 勝 丸	中 川 英 之
消化器科		佐 藤 年 信	佐 藤 年 信	佐 藤 年 信	中 畑 元 均	佐 藤 年 信
小 児 科		杉 本 和 彦	野 村 由美子	杉 本 和 彦	佐 藤 啓	野 村 由美子
外 科		大 谷 勝 記	佐 藤 啓	大 谷 勝 記	野 村 由美子	杉 本 和 彦
		田 澤 俊 幸	高 橋 克 郎	横 山 昌 樹	横 山 昌 樹	三 上 勝 也
		三 上 勝 也	高 橋 克 郎	横 山 昌 樹	横 山 昌 樹	三 上 勝 也
整形外科	午前	柿 崎 寛	柿 崎 寛	柳 澤 道 朗	柳 澤 道 朗	柿 崎 寛
	午後	近 江 洋 嗣	近 江 洋 嗣	近 江 洋 嗣	近 江 洋 嗣	近 江 洋 嗣
脳神経外科		/	/	木 村 正 英	/	/
皮膚科	午前	熊 野 高 行	佐 藤 正 憲	佐 藤 正 憲	熊 野 高 行	熊 野 高 行
	午後	● 予 約	● 手 術	● 予 約	● 手 術	● 予 約
泌尿器科		大 和 隆	大 和 隆	大 和 隆	大 和 隆	大 和 隆
産婦人科		真 鍋 麻 美	佐 藤 春 夫	真 鍋 麻 美	● 妊 婦 健 診	佐 藤 春 夫
眼 科		蒔 苗 順 義	蒔 苗 順 義	蒔 苗 順 義	蒔 苗 順 義	蒔 苗 順 義
耳鼻咽喉科		黒 田 令 子	黒 田 令 子	● 手 術	黒 田 令 子	黒 田 令 子
放射線科	診断	佐々木 幸 雄	佐々木 幸 雄	佐々木 幸 雄	佐々木 幸 雄	佐々木 幸 雄
	治療	/	阿 部 由 直 (午後)	/	/	/
麻 酔 科		● 手 術	● 手 術	● 手 術	工 藤 明	● 手 術
女性専用外来		杉 本 菜穂子 (※予約制/第1・第3火曜日午後診療)				
セカンドオピニオン		/	/	/	今 充	/

※学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。

一 共済組合年次監査一

2月19日～21日までの3日間、東北財務局理財部主計第一課の監査官2名による共済組合年次監査が行われました。

今回の監査は、「所掌事務及び責任が明確化された病院組織として確立されているか、事務処理について照合牽制機能が確立されているか」を重点に、主に平成18年度・19年度の関係書類による監査でした。

監査で指導いただいた事項については、今後の共済業務に活かし、共済組合員の生活の安定・福祉のために努力して参ります。

監査期間中、ご協力いただきありがとうございました。庶務班長 中野 喜代美



【シリーズ】臨床検査のABC⑩ 生化学検査

今回は糖代謝検査についてです。

■糖代謝検査

○血糖

基準値 69～104 mg / dL

血糖とは、血液中のブドウ糖のことで、全身のエネルギーとしてもっとも利用されやすい栄養素です。

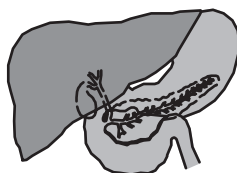
値が上昇する疾患

：糖尿病、甲状腺機能亢進症など

値が低下する疾患

：下垂体機能低下症、肝臓、肝硬変、インスリンーマなど

ただし、食事や運動などによっていつも血糖値は



変化しています。

○グリコヘモグロビン (HbA1c)

基準値 4.3～5.8%

グリコヘモグロビンは、赤血球に含まれるヘモグロビンとブドウ糖が結合したものです。グリコヘモグロビンの濃度は過去1～2ヶ月前の平均的な血糖値の程度を反映するため、糖尿病など比較的長期の血糖コントロールが必要とされる疾患に有用です。

値が上昇する疾患

：糖尿病、腎不全など

この他に、フルクトサミン、ピルビン酸、ケトン体などの検査があります。

次回は、脂質検査についてです。

血液主任 工藤 智木

☆ 新メニュー展開中 ☆

今月の新・特別メニューは《ヒレカツ丼、ちらし寿司、鯛めし》でした。

新メニュー第一弾として2月29日に登場した“ヒレカツ丼”。玉ねぎのやわらかさ、つゆ加減、卵のとじ具合が難しく、調理師の腕の見せ所でした。

また、3月3日桃の節句。新メニューではありませんが、色鮮やかな“ちらし寿司”が登場。海鮮丼などとは違ったお寿司をお楽しみ頂きました。端午の節句には、よりグレードアップした“ちらし寿司”、を計画しております。

新メニュー第二弾は“鯛めし！”。魚の王様と呼



ばれる真鯛を一尾余すことなく使った炊き込みご飯は、鯛の旨味が十二分に詰まっていたと思います。食べる機会が少ないメニューかと思いますが、美味しく食べて頂いたと確信しております。

春は別れの季節、出会いの季節です。社会へ飛び立つ人、人事異動で他へ移る人等、多くの人たちはこの時期、新たな世界への第一歩を踏み出します。「一期一会」という言葉があるように、私たち栄養管理室のスタッフも一つひとつの出会いを大切にしていきたいと思います。



主任栄養士 野呂 直子

【ふるさと紹介】 岩手県奥州市（旧衣川村）

津軽の地から東北自動車道を2時間ほど南下すると前沢平泉ICの出口付近に小さなお城が見えてくる。

ICを出て、小高い丘にあるお城の名称は「懷徳館」といい、城の中には戦国時代の鎧や兜から昭和の時代に使った農具まで、古い時代の生活を偲ばせてくれる品々が多く展示されている。

周囲を見渡せば一面に田圃が広がっており、東には北上川がゆったりと



流れ、南に目を移せば平泉中尊寺の杉木立が見える。西のはるか彼方には雪に覆われた栗駒の山々が屏風のように聳え立っている。車で5分ほど走った草原の中に「東北ニュージーランド村」があり、春の息吹とともにサラブレッドやポニーへの乗馬、ヤギ、ヒツジ、ウサギなどの小動物との触れ合いを楽しむ家族連れや、サイクリングを楽しむ若い人達で賑わっている。

周辺には温泉も多く、中高年にとっても歴史と食に加えて、安らぎを感じられる土地で、私が育った40年ほど前の自然がそのまま残っている懐かしい故郷である。

事務部長 高橋 勝郎

【今月の川柳】

★【川柳募集】 あなたの川柳をお待ちしています。

成せば成る メタボの壁も まず一步 (カマダ)

入院で 夫婦の絆 深まった (やすお)

部屋の主 入院心得 説いている (やすお)

※ 掲載した作品は、広報誌編集委員会を選出したものです。

お知らせ

◆ 苦情・相談窓口

患者様やお見舞いの方などからの苦情・相談については、『患者相談室』のMSW（メディカルソーシャルワーカー）や、院内6か所に設置している『ご意見箱』で対応しています。

なお、皆様にお知らせした方が良い内容のものは、外来掲示板に掲示しています。

発行元 **独立行政法人国立病院機構弘前病院**
Hirosaki National Hospital
責任者 副院長 佐藤 年信

〒036-8545 弘前市大字富野町1番地
TEL0172-32-4311 FAX0172-33-8614
ホームページ <http://www.hosp.go.jp/hirosaki/>